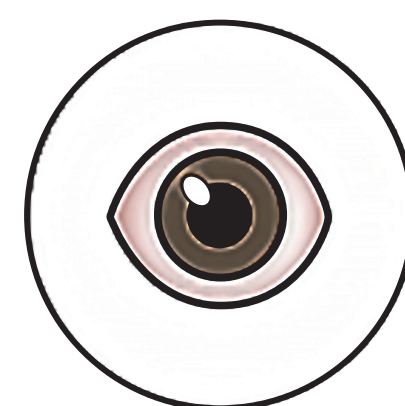


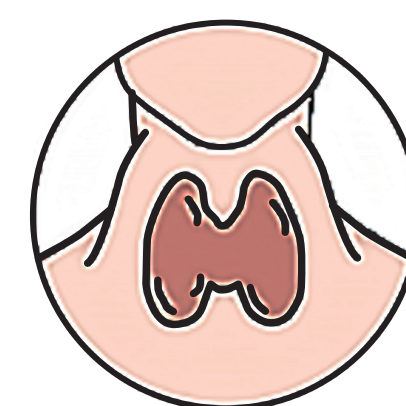
甲状腺眼症 (TED) をご存知ですか？

免疫の影響で起こる眼の病気・甲状腺眼症 (TED)

TEDは、身体の免疫システムが誤って眼の周りの組織に影響を与える（炎症を起こす）ことで、さまざまな眼の症状を引き起こす病気です。多くの場合、甲状腺が活発に働きすぎてしまう「バセドウ病」と一緒に起こりますが、甲状腺の働きが正常な人や低下している人にも起こることがあります。



甲状腺眼症



バセドウ病

≠

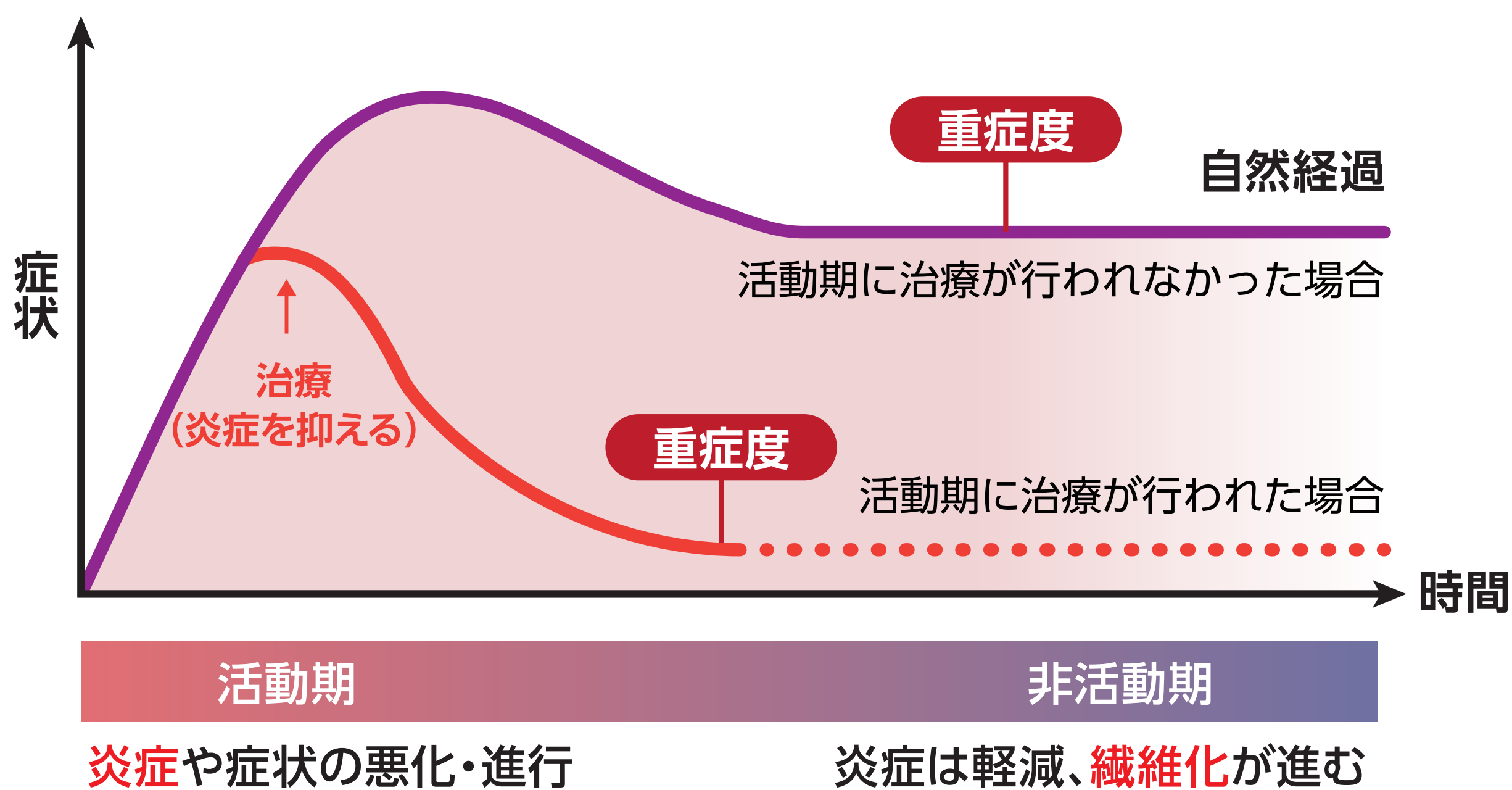
TEDの主な症状

アレルギーのような症状から視力低下までさまざまな症状が現れます。

眼の充血	まぶたの腫れ	過剰に涙が出る
眼の痛み、ゴロゴロする感じ	目が乾く（ドライアイ）	光を異常にまぶしく感じる
眼が出てきたように感じる	ものが二重に見える（複視）	視力の低下

早期の発見・治療がその後の症状改善に重要

TEDの症状には炎症が続く「活動期」と炎症が落ち着く「非活動期」があります。活動期は6～24ヵ月ほど続き、症状が進行することがあります。その後の非活動期で、1年からそれ以上かけて症状が徐々に改善していきます。



Wang Y, et al. Ther Clin Risk Manag 2019; 15: 1305-1318より改変

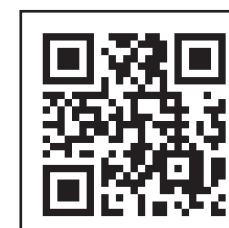
非活動期には炎症が治まり、組織の腫れも引いてきますが、その過程で組織が硬く、線維のようになる「線維化」が起こる場合があります。線維化が進むと、治療で発症前の状態に戻ることが難しくなるため、活動期のうちに早期に治療を始め、炎症を抑えることがとても重要です。



症状に気づいた場合は、
医師に詳しく症状を伝えて
専門医を紹介してもらいましょう

さらなる情報はこちらから
(症状のセルフチェックもあります)

甲状腺疾患にかかわる目の症状を知るサイト
甲状腺眼症.jp



出典 Wang Y, et al. Ther Clin Risk Manag 2019; 15: 1305-1318
日本甲状腺学会・日本内分泌学会 編集: 甲状腺眼症診療の手引き メディカルレビュー社, 2020



RDD2025のすべてのパネルは
左の二次元コードからご覧いただけます。